

# 年頭のぞき挨拶

秩父別町長 澁谷 信人



ため誠心誠意努めてまいる所存でありますので、よろしくお願いを申し上げます。

昨年を振り返りますと、大型で強い台風15号、19号の影響でこれまで経験したことのない記録的な雨が降り、関東甲信越や東北地方を中心に全国各地で甚大な被害をもたらしました。犠牲となられた方々に心からお悔やみ申し上げますとともに、怪我をされた方や被災された方々にお見舞いを申し上げます。

また、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

この災害を対岸の火事と捉えることなく、本町における防災体制の確立と防災に対する意識の高揚に努めてまいります。

5月1日には、天皇陛下の皇位継承に伴い、元号が「平成」から人々が美しく心を寄せ合う

中で文化が生まれ育つという意味が込められた「令和」に変わり、希望と期待を抱きつつ新たな時代が幕をあけました。

一方、9月に発足した第4次安倍再改造内閣は、全世代型社会保険の実現を最重要課題と位置付けておりますが、地方に対する政策は十分に配慮がなされているとは言い難い状況であります。

国には、農産物に関する通商政策や、米生産調整の抜本的な見直しなど、一連の急進的な農政改革などにより影響を受ける農業分野も含め、地方が真に潤う効果的な政策を実現していただくよう強く願うところであります。

また、本町におきましては、基幹作物の水稲は8月上旬の低温と日照不足の影響により、一部品質の低下が見られたものの、作況指数は105と2年ぶりの豊穰の出来秋となりました。

これもひとえに、農家の皆さんの適切な肥培管理と関係各位のご努力の賜物であり、心から敬意を表するところであります。

町の主な事業では、公約である自主防災組織の立ち上げに向け、10月26日に防災訓練を実施いたしました。住民相互の防災意識の向上が図られたと感じております。



また、10月の消費税の増税にあわせ、国の制度を拡大し、全ての町民が購入できる商品券の発行を実施したところであります。

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、令和2年の輝かしい新春をご家族お揃いで迎えられることと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から町政に対する温かいご理解とご支援を賜り心から厚くお礼申し上げますとともに、本年も秩父

別町発展のためにさらなるご指導を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

特に昨年は、2月28日に執行されました町長選挙におきまして、無投票で当選の栄に浴させていただきました。衷心より厚くお礼申し上げますとともに、秩父別町のさらなる発展と町民の皆様の幸せの



9月4日 記念式典の様子

昨年は、明治28年屯田兵の入植により、初めて開拓の鋤が入れられてから125年の記念の年でありました。9月4日に開催いたしました記念式典には、姉妹町の香川県綾川町から前田町長様・河野議長様にご来駕をいただき、先人のご労苦に感謝を申し上げながら、開村125年の佳節をお祝いいたしました。

また、式典終了後に開催いたしました、三遊亭円楽師匠の記念講演には大勢の町民の皆様にお越しいただき盛会のうちに終了することができました。

さて、本年は東京オリンピック・パラリンピック開催の年であります。

夏のオリンピックとしては、56年ぶりに日本で開催されるスポーツの祭典であります。世界のアスリートが一堂に会した中での日本選手の健闘に期待させていただきます。

さらに、決定まで紆余曲折があった中で、マラソンと競歩が札幌市での開催となりましたが、周到な準備のもとに成功裏に終了することを願ってやみません。

私は、間もなく就任から1年を迎えますが、今後も町民の皆様が「このまちに住んでよかつた・生まれてよかつた」と言っていただけまちづくりの職員と一丸となって誠心誠意取り組みでまいりますので、重ねてご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして明るく活気に満ち溢れ、幸多からんことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年

- |       |       |
|-------|-------|
| 町長    | 滋谷 信人 |
| 副町長   | 高鶴 公人 |
| 総務課長  | 尾垣 義次 |
| 企画課長  | 中野 慎司 |
| 住民課長  | 早川 聡  |
| 産業課長  | 竹内 剛  |
| 建設課長  | 永峰 敏幸 |
| 会計管理者 | 宮武 幸充 |
| 外職員一同 |       |

